

# マーケット・アイ (概観)

日銀金融経済月報		日銀金融市場調節方針			日本の主要統計指標													
<b>10月：基調判断 (1年3か月連続で据え置き)</b> <b>わが国の景気は、緩やかに拡大している。</b> 公共投資は、低調に推移している。( ) 輸出は、増加を続けている。( ) 企業の業況は、部門によって慎重さはみられるが、総じて良好な水準を維持している。 生産は、増加基調を続けている。( ) 設備投資は、引き続き増加基調にある。( ) 雇用者所得は、緩やかな増加を続けている。( ) 個人消費は、底堅く推移している。( ) 住宅投資は、足もと減少している。( ) 国内企業物価は、国際商品市況高などを背景に、3か月前比でみて上昇している。( ) 消費者物価(除く生鮮食品)は、前年比は、ゼロ%近傍で推移している。( ) 先行きについては、景気は緩やかな拡大を続けるとみられる。		決定日 03.10.10 04.1.20 06.3.9 06.7.14 07.2.21	金融市場調節方針 日本銀行当座預金残高が <b>27~32兆円</b> 程度となるよう金融市場調節を行う。 日本銀行当座預金残高が <b>30~35兆円</b> 程度となるよう金融市場調節を行う。 無担保コールレート(ON物)を、概ね <b>ゼロ%</b> で推移するよう促す。 無担保コールレート(ON物)を、 <b>0.25%</b> 前後で推移するよう促す。 無担保コールレート(ON物)を、 <b>0.5%</b> 前後で推移するよう促す。	基準割引および基準貸付利率 0.10% 0.10% 0.10% 0.40% 0.75%	項目 年・期 05/10-12 06/1-3 06/4-6 06/7-9 06/10-12 07/1-3 07/4-6 07/7-9	実質GDP 前期比年率 (%) 1.5 2.4 2.4 0.5 5.6 3.0 1.2	名目GDP 前期比年率 (%) 1.2 0.9 1.7 0.9 5.9 1.4 0.7	GDPデフレーター 前年同期比 (%) 1.6 1.3 1.1 0.7 0.5 0.3 0.3	需給ギャップ (%) 0.5 0.3 0.0 0.5 0.5 0.8 0.2	日銀短観業況判断DI 大企業製造業 (ポイント) 21 (12月) 20 (3月) 21 (6月) 24 (9月) 25 (12月) 23 (3月) 23 (6月) 23 (9月)	項目 年・月 07/2 07/3 07/4 07/5 07/6 07/7 07/8 07/9	全国消費者物価 (除く生鮮食品)前年同月比 (%) 0.1 0.3 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1	国内企業物価 前年同月比 (%) 1.8 2.0 2.4 2.3 2.4 2.3 2.0 1.7	景気動向指数DI 先行 (%) 25.0 33.3 16.7 45.8 75.0 72.7 27.3 27.3	一致 (%) 27.3 9.1 72.7 63.6 81.8 70.0 85.0	鉱工業生産 (季節調整前)前月比 (%) 0.7 0.3 0.2 0.3 1.3 0.4 3.5	機械受注 (民間除く船舶・電力)前月比 (%) 4.9 4.5 2.2 5.9 10.4 17.0 7.7	完全失業率 (季節調整)全体 (%) 4.0 4.0 3.8 3.8 3.7 3.6 3.8

政府月例経済報告		経済カレンダー		OIS (Overnight Index Swap)		金利予想			
<b>10月：基調判断 (11か月連続で据え置き)</b> <b>景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、回復している。</b> 企業収益は、改善している。( ) 設備投資は、このところ弱い動きがみられるものの、基調として増加している。( ) 雇用情勢は、厳しさが残るものの、着実に改善している。( ) 個人消費は、 <b>おおむね横ばいとなっている。</b> ( ) 輸出は、緩やかに増加している。( ) 生産は、 <b>持ち直している。</b> ( ) 住宅建設は、 <b>このところ減少している。</b> ( ) 先行きについては、企業部門の好調さが持続し、これが家計部門へ波及し国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれる。一方、アメリカ経済や原油価格の動向が内外経済に与える影響等には留意する必要がある。(カッコ内は方向性を表示)		日付 10/26 10/30 <b>10/31</b> 11/2 11/8 <b>11/12</b> <b>11/13</b> 11/29 11/30	内容 10月都都区部・9月全国コアCPI 9月の鉱工業生産速報 <b>日銀金融政策決定会合            展望レポート、総裁会見            米FOMC(10/30~)</b> 10月米雇用統計 9月の機械受注統計 <b>日銀金融政策決定会合1日目            日銀金融政策決定会合2日目            金融経済月報、総裁会見</b> 10月の鉱工業生産速報 11月都都区部・10月全国コアCPI 10月の完全失業率、有効求人倍率	期間 (07~08年) 07/11/14-12/20 12/21-08/1/22 1/23-2/15 2/18-3/7 3/10-4/9 4/10-5/20 5/21-6/13	固定金利 0.50250% 0.54875% 0.58125% 0.61375% 0.63750% 0.65750% 0.68250%	織り込み率(*) 1% 20% 33% 46% 55% 63% 73%	種類 無担保コール(加重平均) 短期国債(FB/TB) C P (3か月物)	今後1か月程度を展望 (O/N) 期間中の平均 0.49~0.51% (3M) 0.58~0.60% (6M) 0.60~0.65% (1Y) 0.65~0.75% a-1+ 0.68~0.72% a-1 0.70~0.80% a-2 0.75~0.90%	備考 ONは外銀の資金需要が後退する一方、邦銀の調達ニーズは底堅く、0.50%程度で安定推移。コール市場残高は24兆円台に増加している。 早期利上げ観測の後退や、投資家の堅調な購入意欲を背景に利回りは低位安定で推移。 年末越えやリース・ノンバンク銘柄に対するレートプレミアムが拡大している。

## 2007年4月の展望レポート (7月中間評価)

### 2007年4月「経済・物価情勢の展望」(展望レポート)

指標	2006年度実績	2007年度実績 (確定分までの平均)	政策委員の大勢見通し (太字は中央値)		
			2007年度	06年10月時点の見通し	2008年度
実質GDP	+2.1%	1.2%	+2.0~+2.1% <b>+2.1%</b>	+1.9~+2.4% <b>+2.1%</b>	+2.0~+2.3% <b>+2.1%</b>
国内企業物価	+2.8%	+2.0%	+0.7~+0.8% <b>+0.7%</b>	+1.1~+1.5% <b>+1.2%</b>	+0.8~+1.0% <b>+1.0%</b>
消費者物価 (除く生鮮食品)	+0.1%	0.1%	+0.0~+0.2% <b>+0.1%</b>	+0.4~+0.5% <b>+0.5%</b>	+0.4~+0.6% <b>+0.5%</b>

\* 各政策委員は、政策金利について市場金利に織り込まれたとみられる市場参加者の予想を参考にしつつ、上記の見通しを作成している。

#### 経済・物価情勢の見通し (2007年4月)

先行き2007年度から2008年度を展望すると、生産・所得・支出の好循環メカニズムが維持されるも、息の長い拡大を続けると予想される。成長率の水準は、2007年度、2008年度とも、潜在成長率を幾分上回る2%程度で推移する可能性が高い。消費者物価指数(除く生鮮食品)の先行きは、原油価格の動向にもよるが、前年比でみて目先はゼロ%近傍で推移する可能性が高いものの、より長い目でみると、プラス幅が次第に拡大するとみられる。その結果、2007年度はごく小幅のプラス、2008年度は0%台半ばの伸び率となると予想される。

#### 上振れ・下振れ要因

経済情勢 海外経済の動向、IT関連財の需給動向、金融環境などの楽観的な想定に基づく、金融・経済活動の振幅の拡大  
 物価上昇率 需給ギャップに対する物価の感応度の低下、原油をはじめとする商品市況の動向

#### 中間評価 (2007年7月)

**わが国の景気は、4月の「展望レポート」で示した「見通し」に概ね沿って推移すると予想される。**物価面では、国内企業物価は、国際商品市況高などを背景に、2007年度は、「見通し」に比べて上振れるものと見込まれる。2008年度の上昇率は、「見通し」に概ね沿ったものとなると予想される。この間、消費者物価は、2007年度、2008年度とも、「見通し」に概ね沿って推移すると予想される。

### 円先物金利からみた日銀の追加利上げは年度内も微妙に

金融市場の混乱はFRBのFFレート引き下げなどによって一旦落ち着く気配をみせ、10月に入ると、日銀短観や米雇用統計を受けて年内の利上げ観測もやや高まってきた。しかしながら、米住宅着工の減少や、米金融機関の決算不振などで、再び米国内経済や金融市場の不透明感が高まった。現状の円先物金利をみると、08年9月物まで、次の利上げの目安となる0.95%を下回っており、年内のみならず年度内の利上げも微妙な見方となっている。OIS取引でも08年3月の利上げ織り込み率は55%まで低下している。